

ポスターセッション

	発表題目	発表者名 (○: コアタイム発表者)
A - 学術研究部門		
A-1	塀・垣類に係る伝統的工法の地域的特徴に関する研究	○西村亮彦 (国土技術政策総合研究所)、木村優介、曾根直幸 (元・国土技術政策総合研究所)、栗原正夫 (国土技術政策総合研究所)
A-2	筑波山周辺地域の制度 *	○西邑雅未、黒田乃生 (筑波大学)
A-3	神社の立地にみる住民の想い - 国選定重要文化的景観 利根川・渡良瀬川合流域の水場景観 -	○宮田裕紀枝 (元・板倉町教育委員会)
A-4	棚田景観の価値付けを契機とした地域活動の活発化 - 島根県奥出雲を事例として *	○中西広大・新雄一郎・徐尚佑 (大阪市立大学)
A-5	かくれキリシタン信仰の世界遺産登録運動における諸問題 - 「橋の色」をめぐる行政と住民の対立を事例として - *	○小泉優莉菜 (神奈川大学)
A-6	文化的景観としての対馬の石屋根倉庫の研究 *	○小林秀輝、藤田直子 (九州大学)
A-7	中国貴州省の黔东南におけるミャオ族の集落の景観構成と変遷 *	○李雪、黒田乃生 (筑波大学)
A-8	博物館とその周辺環境に関する研究 - Tokyo National museum, Tokyo と National Gallery, London の文化的空間構成要素の比較分析 - *	○岡野瑛莉、関根理恵 (江戸川大学)
A-9	河岸における文化的景観に関する研究 - 首都『Paris, rives de la Seine (Paris, FRANCE)』, 『日本橋川河岸 (東京都, 日本)』と地方都市『Le quai de la poissonnerie (Colmar, FRANCE)』, 『巴波川河岸 (栃木市, 日本)』を事例として -	○関根理恵 (江戸川大学)
A-10	「都市の環境倫理」の観点から見たバリの文化的景観	○吉永明弘 (江戸川大学)
A-11	歴史的建造物内空間の文化的景観に関する考察 - ヴェルサイユ宮殿を事例として - *	○安座間愛、関根理恵 (江戸川大学)
B - 地域計画部門		
B-1	なりわいを支えることにより文化的景観を守る取組み 「カルデラ火山との共生」阿蘇の文化的景観①	○帆足俊文、園田羊一、金山一仁、緒方徹、佐伯隆夫 (阿蘇世界文化遺産推進室)、徳永哲、赤星眞弓 ((株) エステイ環境設計研究所)
B-2	文化的景観における本質的価値の構成と表現 「カルデラ火山との共生」阿蘇の文化的景観③	○徳永哲 ((株) エステイ環境設計研究所)、帆足俊文 (阿蘇世界文化遺産推進室)、赤星眞弓 ((株) エステイ環境設計研究所)
C - 地域活動部門		
C-1	平取町文化的景観の価値認識と地域・企業・行政の連携による保全の取組	○貝澤太一 ((株) ノーザンクロス)
C-2	重要文化的景観「近江八幡の水郷」ワイズユースによる景観保全	○野口尚志、濱崎一志、深尾甚一郎、奈良俊哉 (NPO 法人景観と文化研究会)
C-3	「大溝の水辺景観」を舞台とした「暮らし」と「観光」の共存するまちづくりに向けて	○神原未来、今西仁、仁賀定夫 (大溝の水辺景観まちづくり協議会)
C-4	千年村を紐解く、楽しむ - 周防鑄銭司の風土を舞台に -	○本間智希 (RAD)、菊地暁 (京都大学)、恵谷浩子 (奈良文化財研究所)、井高久美子、高原文江 (山口情報芸術センター)
C-5	白地図の余白で地域を語る ~くろそん手帖の活動と展開について~	○井上紀代美 (しろくまデザイン)、多田さやか (くろそん手帖活用委員会)、川村慎也 (四万十市教育委員会)、
C-6	空石積による水路改修の一事例	○松熊修吾、西山穩、濱口聰、國廣聡志 ((株) 西日本科学技術研究所)、宇都宮幸成、西村範明 (四万十町教育委員会生涯学習課)
C-7	学生キャンプから見えてきた流域連携事業の可能性	○武市真実 (公益財団法人四万十財団)、川村慎也 (四万十市教育委員会)
C-8	住民感覚に根ざした文化的景観の取組みに向けて 「カルデラ火山との共生」阿蘇の文化的景観②	○赤星眞弓、徳永哲 ((株) エステイ環境設計研究所)、帆足俊文 (阿蘇世界文化遺産推進室)、武藤由美子 ((株) エステイ環境設計研究所)

※タイトルうしろの「*」はベストポスター賞 (若手研究者) 選考対象

受賞ポスター

選考対象となったポスターは学術研究部門（若手研究者）7題、地域計画・活動部門10題であった。文化的景観研究集会（第7回）ポスターセッション選考委員会（委員長：福井恒明法政大学教授）において、1）ポスター内容の充実度、2）ポスターの見やすさ・わかりやすさという観点から選考をおこない、以下の通り各賞を決定した。

□ベストポスター賞

学術研究部門（若手研究者） 2題（ポスター番号順）

棚田景観の価値付けを契機とした地域活動の活発化

－島根県奥出雲を事例として

中西広大殿 新雄一郎殿 徐尚佑殿（大阪市立大学）

文化的景観としての対馬の石屋根倉庫の研究

小林秀輝殿（共同発表者：藤田直子殿）（九州大学）

地域計画・活動部門 3題（ポスター番号順）

文化的景観における本質的価値の構成と表現

「カルデラ火山との共生」阿蘇の文化的景観③

徳永哲殿（（株）エスティ環境設計研究所）、帆足俊文殿（阿蘇世界文化遺産推進室）、赤星眞弓殿（（株）エスティ環境設計研究所）

白地図の余白で地域を語る

～くろそん手帖の活動と展開について～

井上紀代美殿（しろくまデザイン）、多田さやか殿（くろそん手帖活用委員会）、川村慎也殿（四万十市教育委員会）

空石積による水路改修の一事例

松熊修吾殿、西山穩殿、濱口聰殿、國廣聡志殿（（株）西日本科学技術研究所）、宇都宮幸成殿、西村範明殿（四万十町教育委員会生涯学習課）

□選考委員会特別賞

ポスター発表を通じて、重要文化的景観の調査に端を発し、選定後も文化的景観の価値を継続的に深めていくという、調査の理想的な姿を示したことに対して。

神社の立地にみる住民の思い

－国選定重要文化的景観 利根川・渡良瀬川合流域の水場景観－

宮田裕紀枝殿（元・板倉町教育委員会）